

ハローホスピタル

Hello Hospital

病院の理念

職員が働きたい、働いてよかった、患者さんがかかりたい、かかってよかった
地域が在って欲しい、在るので安心といえる医療をおこなう



トピックス

- 新年のご挨拶
- 医療の質向上 (MQI) 活動
- 医療費後払いサービスのご案内
- 東京都知事感謝状受賞報告
- 新任医師紹介
- フレイル予防ダンスエクササイズ
- 情報処理安全確保支援士について
- バイオシミラーについて



公益財団法人 東京都医療保健協会

練馬総合病院

<https://www.nerima-hosp.or.jp>

新年のご挨拶



理事長・院長
柳川 達生

新年あけましておめでとうございます。皆様に心よりお慶び申し上げます。私共練馬総合病院は、今年も地域の皆様にとって身近で利便性の高い医療を提供するため、診療体制の充実と地域ニーズに応じた医療の拡充に努めてまいります。本院が目指す「かかりつけ医機能支援病院」として、地域社会に貢献してまいります。

「かかりつけ医機能」とは、患者さんの日常診療において生活背景を把握し、適切な診療や保健指導を行うこと、また必要に応じて専門家へ迅速に紹介する機能を指します。さらに、2次救急や介護施設との連携など、地域医療を担う民間病院として重要な役割を果たします。

本年も、地域医療の充実を目指し、職員一同努力してまいります。どうぞ変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。新しい一年が皆様にとって希望に満ち、健康と幸福にあふれたものとなりますよう、心よりお祈り申し上げます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

副院長 栗原 直人

明けましておめでとうございます。昨年は急性期病院として、救急搬送受け入れ件数の増加、手術件数の増加、内視鏡件数の増加、練馬区がん検診や企業検診など検診業務の増加など、皆様に支えられ地域に根ざした病院として活躍することができました。診療部の2025年4月から耳鼻咽喉科に常勤医師2名赴任です。各診療科は、最近のめざましい医療の進歩を取りいれて最新の医療を提供できるように日々研鑽しています。本年度も皆様の健康維持、病気の適切な診断、治療に向けて頑張りますので、ご指導、ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願いいたします。

副院長 東 宏一郎

明けましておめでとうございます。昨年は、新型コロナウイルス感染症拡大でしばらく行えていなかった小学生を対象とした夏休み医療体験や、対面での練馬区糖尿病区民公開講座を行うことができました。医療体験では、本院が推奨する地中海式健康和食弁当を実際に体験いただきました。区民公開講座では、本院の沼口隆太郎医師を中心としたダンスエクササイズ(次ページご参照ください)もご紹介させていただきました。病院におかかりいただいている皆様はもちろん、地域の皆様の健康維持・増進にも役立つ病院として本年も精一杯頑張りますので、ご指導、ご支援を何卒よろしくお願いいたします。

事務長 阿部 哲晴

明けましておめでとうございます。昨年も多くの患者さんにご利用いただき、外来患者数、手術件数ともに年々増えております。外来においては、1日500名を超える日も多くなってきました。地域への貢献度が高まっていると嬉しく思いつつも、待ち時間の問題等が発生していることを申し訳なく思っております。対策の一環として、クレジットカードによる後払いの仕組みを導入いたしました。現時点では、まだまだ効果を発揮できていませんが、少しでも体調の悪い患者さんが病院内での待ち時間少なくお帰りいただけるよう、日々改善してまいります。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

看護部長 佐藤 松子

新年明けましておめでとうございます。我が家のレモンの花は、去年も咲きませんでした。今年こそはと期待しましたが残念です。梅が11月の剪定時には、枯れ葉になるのに緑の葉が多く、暖かい気候だったという事が植物からも分かりました。毎年感じるのですが、お正月が終わってから9月迄は、月日の経つのが遅く、9月が過ぎるとあっという間に12月になってしまう感覚です。9月迄は、まだ大丈夫と気持ちの余裕があり、9月が過ぎると来年の事をより具体的に考えたり、人員確保が予定通りいけるかなど、定期的に短期間で結果を出すのが要因と考えています。1年間通して余裕がある状態にしたいと思いましたが、四季の気候に逆らうことは難しく、数カ月でも余裕のある気持ちでいられたら良いとしようと思いを始めています。本年もよろしくお願いいたします。

副看護部長 福本 和美

明けましておめでとうございます。昨年は入退院支援室を開設し、入院前から退院後を見据えた関わりが持てるよう看護部でも入退院支援に力をいれております。地域のみなさまが安心して入院できる環境を整え、早期に退院ができるよう看護しております。また、緊急で入院が必要な患者さんもスムーズな対応ができるよう体制作りをしています。新型コロナウイルス感染症が5類になって以降、昨年は、面会制限を緩和して入院患者さんとご家族の方が入院中も面会ができる状態に戻りました。患者さんには、不安を最小限に安心して療養できる看護を提供していきます。本年もよろしくお願いいたします。

医療の質向上(MQI)活動

MQI推進委員会副委員長

東 宏一郎

令和6年12月7日(土)、第29回医療の質向上(MQI)活動発表大会が開催されました。今年のテーマは「元気ある次世代を担う病院への改革～患者と地域のための医療体制づくり～」でした。コロナ禍から続くWebハイブリッド形式で、外部参加者50名を含む200名以上が参加しました。発表された6つのテーマは、いずれも医療の質向上と業務効率改善に直結する素晴らしい取り組みで、活発な質疑応答が行われました。

特別講演では、医療安全・医療の質向上活動の第一人者・矢野真先生が「安全文化と医療の質」をテーマにご講演くださり、個々の強みを生かしたリーダーの育成・教育システム構築の重要性を教えてくださいました。

大接戦でしたが、最優秀賞は看護部チームで悲願の初受賞となりました。MQI推進委員・各チームもこの日のために精一杯頑張りましたので、最後は歓喜・安堵・達成感に包まれて終了しました。

来年は第30回記念大会となり、さらに盛大に開催予定です。



病院からのお知らせ

フレイル予防ダンスエクササイズを終えて

内科医師 沼口 隆太郎

令和6年11月16日(土)にダンスエクササイズを行いました。私は高校生からストリートダンスを始め、今まで続けていることもあり、ダンスで医療に貢献できることはないかと考えていました。そこでフレイル予防の為にダンスを普及する「フレイルストッパーズ」というチームを結成し、ダンスエクササイズをする企画をたてました。当日は30～70代の当院通院中の患者さんを含めた9名が参加してくれました。

●当日のイベント内容

- 13:00～13:15 フレイル・ロコモティブシンドローム講義、チェックアンケート
- 13:15～13:30 握力検査、歩行速度測定、2ステップテスト、立ち上がりテスト
フレイルの有無・ロコモ度を各々評価
- 13:30～ ダンスエクササイズ開始

Youtubeをチェック！



最初5分はリズムに合わせてストレッチをしました。覚えるステップは4種類に絞り、1つ目はリズムに合わせて足踏み・サイドステップ・4歩のステップ、2つ目はフロントランジ様のステップ、3つ目はももを上げるステップ、4つ目は簡単なフラダンスのステップを行いました。詳細はYoutube「フレイルストッパーズ」にアップしております。アンケートから全体的に満足していただけたと考えております。

ダンスは有酸素運動・筋トレ・バランス運動・脳トレなど複合的要素のある運動であり、今後も定期的に開催できるよう企画を進めていきたいです。



＜好評だったダンスエクササイズ＞

練馬地域連携の会

地域連携室

『第18回練馬地域連携の会』

令和6年11月20日(水)「第18回 練馬地域連携の会」を当院にて開催致しました。今回の地域連携の会は集合参加、WEB参加合わせて地域医療機関の皆様81名、院内職員90名、合計171名が参加致しました。

本年度は各センターおよび診療所の取組みを紹介し、ご意見、ご質問をいただきました。各診療科とは異なった視点から当院の診療活動・今後の方針を紹介させていただきました。多くの地域の関係機関の方々とは交流できたことを嬉しく思います。

今後も地域連携を強化し
地域医療に貢献できるよう努力して参ります

「医療費後払いサービス」 運用開始しました

令和6年10月より後払いサービス(クレジット決済)を開始いたしました。

本サービスのご利用により、精算機に並ばずお帰りいただくことができます。(但し、会計表示盤に会計番号が表示されるまではお待ちいただきます。)

☆ご利用対象☆

ご自身でスマートフォン上のアプリ操作ができてクレジットカードをお持ちの方。

※各種医療証/券等によりお支払いが0円の方、窓口でのご案内が必要な方等のご利用いただけません。

病院外来アプリ
Sma-pa(スマパ)



令和6年度薬事関係功労者 東京都知事感謝状受賞 医療マネジメント室 金内幸子

当院の医療マネジメント室 金内が、東京都から『都民の保健衛生の向上に貢献した薬事関係功労者』として、都知事感謝状を贈られました。

長年、薬剤科科長を務め、医薬品の適正使用、医療安全、感染対策、MQI(医療の質向上)活動を推進する傍ら、東京都病院薬剤師会や練馬区薬剤師会の理事を務めています。

地域の保険薬局と病院薬剤師の連携や高齢者薬物療法専門領域薬剤師の育成、後発医薬品の安全・安心な使用促進などにより、患者さんの安全な薬物療法の継続に尽力していることを評価していただきました。



新任医師紹介

外科医師
近藤 慎一郎
(コンドウ シンイチロウ)



10月より外科専攻医として勤務させていただいております、近藤慎一郎と申します。

2022年に慶應義塾大学医学部を卒業後、静岡県立総合病院にて初期臨床研修を修了し、2024年4月より慶應義塾大学医学部外科学教に入局致しました。同年9月まで慶應義塾大学病院にて勤務し、その後10月から当院に着任致しました。

まだまだ若輩者ではございますが、地域に根付いたこの病院で外科医として患者様の健康に貢献できるよう日々精進して参りますので、何卒よろしく願いいたします。

敬老の日講演会

本年も9月17日(火)にココネリホールにて敬老の日講演会が開催されました。今年度のテーマは『脳の健康を保つには？～脳卒中・認知症予防、もしもの時の備えについて～』でした。今回はコロナ明けの再開となりましたが、130名の方にお越しいただきました。みなさま講演会にお越しくださり誠にありがとうございました。



脳神経外科 科長 武田医師による講演
講演テーマ
「脳の健康を保つには？」



副院長・診療部長 栗原医師による講演
講演テーマ
「ACP(アドバンスケアプランニング)ってなあに？」

各科・その他お知らせ

情報処理安全確保支援士 質保証室 堀

「情報処理安全確保支援士」とは、サイバー攻撃の脅威に対策する人材確保を目的とし、2017年に新設された名称独占国家資格です。信用失墜行為の禁止・秘密保持・法定講習の受講等が義務付けられています。

全国に約23,000名存在し、うち約30名が病院勤務です。近年では病院がサイバー攻撃の標的となることが多くなり、未だ十分な人数がそろっているとは言い難い状況です。

歴史上、堅固な城郭や要塞が外部攻撃のみで破られたことはほとんどなく、多くは人的要因が存在します。「強いから勝つ」ではなく「弱いから負ける」ということです。

サイバーセキュリティも同じで、機械よりも人、つまり組織内の個人の自覚が非常に重要です。



バイオシミラーについて 薬剤科

・バイオ医薬品とは

バイオ医薬品はインスリン製剤など、たんぱく質を利用して作られた医薬品です。

・バイオシミラーとは

バイオシミラーとは先行バイオ医薬品の後に作られた後続品を指します。

バイオ医薬品は製造が複雑なため、バイオシミラーは先行バイオ医薬品と全く同じではありませんが、有効性・安全性は同等です。バイオシミラーは先行バイオ医薬品より安価であるため経済的負担の軽減に繋がります。

気になることがありましたら
お気軽にご相談ください



正月太りを解消しよう！

リハビリテーション科

正月太りは年末年始のイベントに伴う食事摂取量の増加、寝正月を過ごすことでの運動不足、寒さからの身体の冷えにより起こります。

そこで正月太りを解消するために大切なのは食事と運動です。

食事

- ・ バランスの良い食事を摂る事
- ・ 炭水化物より先に食物繊維を含む食品を摂り、食欲を抑える
- ・ 基礎代謝に対する摂取エネルギーを超えない



運動

- ・ ストレッチや有酸素運動を中心に実施する
- ・ 自宅の空いた時間で、少し家から出て歩くようにしたり、階段を使用したりすることで普段よりも運動の機会を設ける
- ・ 家事をすることでエネルギー消費が可能
- ・ 運動をすることで血液循環が良くなり、身体の冷えを予防できる



患者さんからの声にお答えします

患者満足向上委員会

■「患者さんの声」に寄せられた、ご意見から抜粋して掲載いたします。

【意見】

1食490円負担の入院患者流動食について
8/9 夕食：重湯、水ようかん、ヨーグルト
8/10 朝食：重湯、スープ、ヨーグルト
8/10 昼食：重湯、きなこまん、ヨーグルト
これで¥490…高！！
給食会社ぼろもうけ！！



【回答】 栄養科より

貴重な御意見ありがとうございました。

まずは今回提供した流動食について説明させていただきます。

流動食は術後や消化器症状がある方などに提供するもので、消化に良く、消化機能が低下している時でも食べやすいように工夫したお食事です。

重湯はとろみの付いた水のように感じたかもしれません。流動食の為、米粒は提供することはできませんが、重湯とはお粥を作る際の上澄み液であり、お粥を作るものと同様に時間をかけて作らせていただきました。

ゼリー類は市販のものが多く、簡素なものに見えてしまったかもしれません。

今回の献立では提供はありませんでしたが、ミルクケーキ等も献立上にあり、作る際はミキサーにかけ、裏ごしするなど丁寧に作らせていただいております。

今後は、流動食が治療に必要な食事であることをきちんと伝えられるよう努めてまいります。

補足ではありますが、病院で提供される食事は、入院患者さんの治療の一環として医師の指示のもとに提供しており、標準負担額が決まっています。標準負担額は厚生労働大臣が定めることになっておりますので、食事内容によって値段を変えることはできません。ご了承ください。

今後も皆様のご意見を参考に、より良い病院づくりを目指します

<次号> Vol.135 2025年4月発行

患者満足向上委員会・広報委員会では当院に対する

皆様からのご意見・ご質問などを“ご意見箱”や“E-mail”などでお待ちしております

ご意見箱設置場所

各階談話室、玄関入口総合案内

連絡先

Tel : 03-5988-2200 (代表)

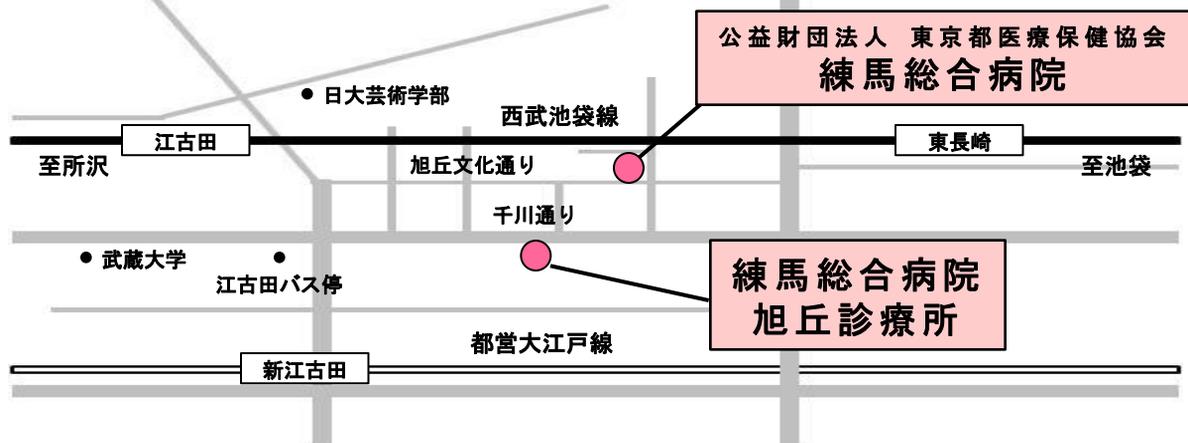
Fax : 03-5988-2250

E-mail : info@nerima-hosp.or.jp

<https://www.nerima-hosp.or.jp>



当院へのご案内



●練馬総合病院

〒176-8530 東京都練馬区旭丘1-24-1

・診療 問い合わせ 03-5988-2290
・各種ドック、健診 03-5988-2246
・その他問い合わせ 03-5988-2200 (代表)
FAX 03-5988-2250

●旭丘診療所

〒176-0005 東京都練馬区旭丘1-32-9

第2MEマンション1階

・TEL 03-5982-8022
・FAX 03-5982-8045

交通：電車 ■西武池袋線 江古田駅南口 徒歩7分
. . . . 東長崎駅南口 徒歩10分
■地下鉄有楽町線 小竹向原駅④出口 徒歩15分
■都営大江戸線 新江古田駅 徒歩10分

【診療科目】

●練馬総合病院

内科／外科／整形外科／脳外科／皮膚科／泌尿器科／産婦人科
眼科／耳鼻咽喉科／循環器内科／リハビリテーション科／救急科
健康医学センター(各種ドック・健診)／内視鏡センター／糖尿病センター
結石センター／スポーツ医学センター／婦人科低侵襲センター
脊椎脊髄センター

●旭丘診療所

小児科／漢方内科

【受付時間】

練馬総合病院 8:00~11:00 12:00~16:00
旭丘診療所 8:30~11:30 13:00~16:00
(第2・第4土曜日のみ 9:30~11:30)

【休診日】

土曜日／日曜日／祝日／年末年始

【救急受付】

24時間・当直医常時3名体制 (内科／外科系／産婦人科)

【面会】

面会可能時間 平日、土日祝 15:00~17:30
面会時間 15分
面会人数 3名まで (ご家族かつ18歳以上の方)